



2019.6.5

No. 305

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 杉山 元

T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

取引の適正化を求めて北海道経産局へ要請 中小労働者の格差是正、処遇改善に向けて

連合北海道は5月21日、北海道経済産業局に対し、下請けなど弱い立場にある中小企業で働く労働者の賃金や労働条件の引き上げのため、企業間での不公正な取引の撲滅や業界の商慣行などの解消を求めて要請を行った。

要請にはフード連合本部の青木政策局長、布施北海道・東北ブロック局長、UAゼンセンからは大磯北海道支部次長、運輸労連北海道地連の辻田副委員長も参加し、現場の実態を報告して改善を強く求めた。

要請では①下請代金支払遅延防止法等の周知徹底、②公正な競争環境の整備のために法令違反の取り締まりの一層の強化や相談機能の充実、③優越的地位の濫用防止、の3点について求めた。

要請書の提出に際して杉山事務局長は「経済を下支えている中小労働者の格差是正、処遇改善をしなければならぬ。そのためには公正な取引慣行が必要」と強く訴えた。

また、山田組織労働局長も「働き方改革が今年4月から段階的に施行されることに伴い、大企業による短い納期での発注や急な仕様変更などのしわ寄せが中小企業に及ぶ恐れがある」と指摘した他、「運送業者が燃油高騰で荷主に運賃値上げを要請しても荷主は聞く耳を持たない」と春闘期に実施した「社会的キャンペーン」で聞かれた声を交えて要請内容を説明した。

■調査や実態を基に現場からも訴え

参加したフード連合の青木政策局長は、UAゼンセンと合同で行った製造業や卸売業の営業担当約3千名から得た「取引慣行に関する実態調査」の結果概要を説明。「優越的地位の濫用行為」は約4割が受けていることや、濫用では「労務提供」と「押し付け販売」が6割以上を占めていること、「ケーキ・うなぎ・ワイン・恵方巻」といった季節商品の押し付け販売では最高額は15万円、7割以上がほぼ自己負担といった実態や、働き方改革に直結する「休日を含む労務提供」は25%の回答があったことが報告された。青木政策局長は、大規模小売業者による納入業者に対する優越的地位の濫用行為を規制するための「大規模小売業告示の周知・徹底が必要だ」などと指摘した。また、運輸労連からもトラック運輸産業の現状と取り組むべき課題について資料が提出された。

これらの要請や職場実態に対して北海道経産局三木産業部長は「経済の持続・発展のためには取引の適正化が欠かせない前提である。引き続き粘り強く取り組んでいきたい」と回答すると共に、経産省が取り組んでいる下請け等中小企業の取引条件改善に向けた取り組みについて説明を受けた。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4127>



杉山事務局長 (左)、三木産業部長



意見交換

同一労働同一賃金を学習

全道から中小労働者が参加し、研修・交流集会を開催

連合北海道は5月18日から2日間、北見市留辺藪で「全道中小労働者研修・交流集会」を開催した。今年で14回目となる集会には全道6地域2産別から54名が参加し、2020年から順次施行予定の同一労働同一賃金の法規定の内容、中小労組が気をつけなければいけない留意点やポイントなどについて学んだ他、分散会ではモデル例題に基づいて無期転換者の労働条件を改善させるために労働組合としてどのような戦略を立てるかなど、意見を出し合った。

冒頭、中小・パート労働条件委員会の佐藤委員長(連合北海道副会長)は、2019春季生活闘争にふれ、「賃金改善は300人未満の中小では昨年を下回っているが、300人以上では前年をクリアして健闘している。非正規の妥結率も昨年を上回っている」と報告した。また、同一労働同一賃金の法規定にもふれ、「均衡処遇と均等処遇の違いをしっかりと踏まえて取り組む必要がある」と指摘した。

■労働者の声を踏まえて待遇の点検・改善を

連合本部の富高労働法制対策局長は「同一労働同一賃金の法整備を踏まえた労働組合の取り組み」と題して講演し、賃金や手当などを例に非正規労働者の現状にふれた上で、299人以下の中小企業は2021年4月から施行となるパートや有期労働者に対する同一労働同一賃金の法規定の内容や、労働組合としてどう取り組んでいったらいいのか裁判例も紹介して説明した。

富高局長は「基本的には」と前置きし、「同じ職場であるパート・有期雇用労働者の声を十分に踏まえて待遇の

点検・改善を図る」、また、今回の法整備の目的は、パート・有期雇用労働者の待遇改善にあることから「待遇差解消のために正規雇用労働者の労働条件を引き下げることには認めないこと」等とアドバイスした他、取り組みの手順などについても説明した。

■分散会

分散会では、「正社員と有期契約労働者の改善要求には応じるが、無期転換労働者の改善要求には応じないが、どう戦略を立てて交渉テーブルにつかせるか」、「現職時の4割減となった定年再雇用労働者の賃金改善に応じない会社側に対して、労働組合としてどう戦略を立てて労働条件改善を求めていくか」の二点をテーマに活発にディスカッションを行った。参加者は「様々な考えを聞いて今後の取り組みに参考となった。他のグループの内容も含めて活かしていきたい」と話していた。

■地場中小組合からの報告

2日目は私鉄総連北見バス支部、十勝地域ユニオン慧誠会労働組合、留萌地域ユニオン羽幌福祉分会から、職場実態や2019春季生活闘争の取り組み、課題が報告された。北見バス支部の三浦副委員長からは「運転手の高齢化が進み人員不足となり減便・廃止につながっている。公共交通の必要性は高まっていることから、働きやすい・魅力ある職場環境作りに向けて取り組んでいく」、慧誠会労働組合の大木書記長は「国の支援制度対象外の職員も処遇改善を図り組合員から喜ばれた。春闘ではパート労働者の通勤手当を正職員と同様に見直した」、羽幌福祉分会の上田書記長は「平成30年度収支決算に係る余剰金及び介護職員処遇改善加算金一時金支給や役付職員の処遇改善を図った。介護従事者の人材不足解消に向けて更に処遇改善を図っていきたい」と、それぞれ報告した。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4122>



連合本部の富高労働法制対策局長



佐藤委員長挨拶



分散会発表

第25回参議院議員選挙 連合北海道推薦候補予定者

北海道選挙区候補予定者



立憲民主党公認

勝部 けんじ (新)

強く、
やさしく

理念・政策

- 農林水産業／地域を立て直す
- 経済 雇用／女性も若者も安心して働く
- 子ども 若者／支え合う社会へ
- 原発／一日も早く原発ゼロに
- 憲法 平和／憲法を生かして平和を守る



国民民主党公認

はらや なみ (新)

すべての命に
寄り添える社会

理念・政策

- 価値観と個人の尊厳を大切にする社会の実現
- 主権を守ります
- 子どもたちの幸せを願う社会の実現
- 働くことは楽しいと思える社会の実現
- 北海道の基幹産業を守ります

投票に行こう!!

若者よ!老後の生活は大丈夫か?

高齢化率は2035年に33.4%、2060年には39.9%に達し国民の約2.5人に1人が65歳以上の超高齢社会が到来します。

支払った保険料に対して公的年金を何倍もらえるかを世代ごとに試算した厚生労働省の公表結果によると、厚生年金では、現在70歳の世帯が5.2倍で、30歳以下の世帯では2.3倍。世代会計(社会保障などの政府の支出・収入構造をもとに世代別の損得をあらわしたもの)によると、70歳代の人たちは生涯に1500万円の得をしている一方で、20歳代～30歳代の人たちは、2500万円の損、つまり差し引き4000万円の差が生まれます。

この差が生まれる理由は、若者の選挙への参加が少ないことから、もっぱら高齢者に受けの良い

政策を訴えることになり、若者の声が政治に反映されないことも大きな原因の一つと考えられます。これが「シルバー民主主義」と言われるゆえんです。

第24回参議院選挙で、新たに有権者となった18歳の投票率は51.17%、19歳は39.66%で、18歳と19歳を合わせた投票率は45.45%でした。

投票所に足を運んで、次の世代を考えられる政治の世界を作りましょう。



政治家と政治屋の違いを知っていますか?



政治家を意味する言葉は、ポリティシャン(politician)とステーツマン(statesman)の2つがあります。

ポリティシャンは「政治屋」で、「次の選挙」のことだけを考えるひと。ステーツマンは「政治家」

で、「次の世代」のことを考えるひと。

言い換えれば、ポリティシャン(政治屋)は、自分たちの利益だけを考えるが、ステーツマン(政治家)は、広い見識をもって全体の利益を考えると意味でしょうか。

我々の代表は、ステーツマンを選びたいものです。

ことだけを考えるひと。ステーツマンは「政治家」

第25回参議院議員選挙 連合北海道推薦候補予定者

比例代表候補予定者(50音順)

立憲民主党公認



小沢 まさひと [新・JP労組]

■現職/立憲民主党参議院比例第14総支部長・JP労組中央副執行委員長 ■生年月日・出身/1965年8月13日・山梨県甲府市 ■経歴等/横浜市戸塚郵便局勤務・日本郵政グループ労働組合中央執行委員・日本郵政グループ労働組合南関東地方本部執行委員長



岸 まきこ [新・自治労]

■現職/立憲民主党参議院比例第13総支部長・自治労特別中央執行委員 ■生年月日・出身/1976年3月24日・北海道岩見沢市 ■経歴等/北海道岩見沢市役所職員・自治労北海道空知地方本部副執行委員長・自治労法対労安局長



みずおか 俊一 [元2期・日教組]

■現職/立憲民主党参議院比例第5総支部長・日教組教育ネット事務局長・日教組教育政策室長・成幸日本語学校校長 ■生年月日・出身/1956年6月13日・兵庫県 ■経歴等/参議院議員(2期)・内閣総理大臣補佐官



もりや たかし [新・私鉄総連]

■現職/立憲民主党参議院比例第4総支部長・私鉄総連交通対策局長 ■生年月日・出身/1967年6月28日・東京都檜原村 ■経歴等/私鉄関東地方連合会東京ブロック青年女性協議会議長・私鉄関東地方連合会副執行委員長・関東地方交通運輸産業労働組合協議会事務局長・私鉄総連バス対策部長



吉川 さおり [2期・情報労連]

■現職/参議院議員 ■生年月日・出身/1976年10月9日・徳島県 ■経歴等/日本電信電話株式会社(NTT、NTT西日本)元社員・参議院経済産業委員会委員長・参議院議院運営委員会筆頭理事・参議院総務委員会筆頭理事・民主党政策調査会会長代理

国民民主党公認



石上 としお [1期・電機連合]

■現職/参議院議員・電機連合顧問 ■生年月日・出身/1962年1月18日・新潟県柏崎市 ■経歴等/連合神奈川県川崎地域連合議長・東芝労働組合副中央執行委員長・東芝グループ連合副会長



いそざき 哲史 [1期・自動車総連]

■現職/参議院議員・自動車総連顧問・日産労連顧問 ■生年月日・出身/1969年4月7日・東京都世田谷区 ■経歴等/日産自動車株式会社入社・パワートレーン開発本部配属・日産労連日産自動車労働組合常任委員・自動車総連特別中央執行委員・日産労連特別中央執行委員



田中 ひさや [新・JAM]

■現職/JAM副会長 ■生年月日・出身/1959年1月11日・千葉県館山市 ■経歴等/千葉県地方労働委員会労働者委員・JAM千葉書記長・JAM副書記長



田村 まみ [新・UAゼンセン]

■現職/UAゼンセン政策グループ政治局員 ■生年月日・出身/1976年4月23日・東京都板橋区 ■経歴等/ジャスコ(株)(現:イオンリテール(株))・イオン労働組合(現:イオンリテールワークスユニオン)中央執行委員(専従役員)・UAゼンセン都道府県支部運営評議会評議員



浜野 よしふみ [1期・電力総連]

■現職/参議院議員 ■生年月日・出身/1960年12月21日・兵庫県高砂市 ■経歴等/関西電力労働組合本部書記長・電力総連事務局長・電力総連会長代理



6月の主な動き

イベントカレンダー

- 1日(土)13:00
男女雇用機会均等法集会/ポールスター札幌
- 3日(月)10:00~4日(火)
労働相談ホットライン/連合北海道事務局
- 5日(水)10:00
最賃改正等に関する要請行動/北海道労働局
- 5日(水)14:00
地方連合会代表者会議/連合会館
- 6日(木)10:00
連合第80回中央委員会/TOC有明

- 10日(月)10:00
雇用における男女平等の要請/北海道労働局
- 12日(水)13:30
第4回メーデー実行委員会/ポールスター札幌
- 14日(金)
住宅生協・労協協・医療生協総会/
ポールスター札幌
- 20日(木)13:30
中央執行委員会/連合会館
- 23日(日)~24日(月)
連合平和行動 in 沖縄/沖縄

- 25日(火)10:00
北海道労働金庫総代会/
ポールスター札幌
- 26日(水)10:15
第9回執行委員会/連合北海道会議室
- 26日(水)13:30
第73回地方委員会/ホテルロイトン札幌
- 26日(水)16:00
第7回地協事務局長会議/
ホテルロイトン札幌